

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	化学物質緊急安全点検調査費		担当部局	環境保健部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	企画課化学物質審査室、環境安全課	安全課長 上田 康治 化審室長 瀬川 恵子		
会計区分	一般会計		施策名	6-2 環境リスクの管理			
根拠法令(具体的な条項も記載)	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2002年に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議において合意された「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」との目標(WSSD2020年目標)の達成に向けて、化学物質の安全を緊急的に点検し、国民の暮らしの安心の基盤となる化学物質対策を実施する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	①化学物質リスク評価等加速化事業:有害性試験の実施が困難な物質についての試験法の検討、予備試験の実施、事業者等への説明会の実施等を行う。また、最新のPRTRデータを用いて、化学物質の地域別データの整備等を行う。②化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業:平成23年4月より改正化審法が完全施行されたが、副生する有害化学物質への対応等の課題を解決するため検討調査等を行い、戦略的に化学物質審査規制の強化を図る。③アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業:アジア諸国を対象に、化学物質の出口、入口規制を含めた環境政策パッケージについて、情報や手法を伝達するため、実務者を派遣し講習を行う。また、アジア諸国の実務者を招へいし、我が国の取組や関連施設に関する講習を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	100
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	100
	執行額		-	-	-	-	-
執行率(%)		-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	化学物質リスク評価等加速化事業のうち、生態毒性試験困難物質の試験法検討事業について、試験困難物質を選定しその試験方法等についての知見等をもとにまとめるものであり、成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
	化学物質リスク評価等加速化事業のうち、地域での化学物質の環境リスク低減支援事業について、化学物質審査規制法に基づく優先評価化学物質のリスク評価のために必要な地域別データの整備を行うものであるため、成果について数値目標を設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
	化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業について、化学物質審査規制の戦略的強化のため、非意図的に副生する有害物質への対応等を検討するための事業で、成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
達成度		%	-	-	-	-	
アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業について、日本型の管理制度の展開及び調和を図るためにアジア諸国を対象に講習等を行う事業であり、成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	化学物質リスク評価等加速化事業のうち、生態毒性試験困難物質の試験法検討事業について、試験困難物質を選定しその試験方法等についての知見等をもとにまとめるものであり、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)	-	-	-	-	()
	化学物質リスク評価等加速化事業のうち、地域での化学物質の環境リスク低減支援事業について、化学物質審査規制法に基づく優先評価化学物質のリスク評価のために必要な地域別データの整備を行うものであるため、数値目標を設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)	-	-	-	-	()
	化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業について、化学物質審査規制の戦略的強化等のための検討を行う事業で、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-
(当初見込み)		-	-	-	-	()	
アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業について、日本型の管理制度の展開及び調和を図るためにアジア諸国を対象に講習等を行う事業であり、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-	
	(当初見込み)	-	-	-	-	()	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	-			
25年度内訳	費目	24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由			
	環境保全調査費	0	100	入替要求による新規要求			
	計	0	100				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	化審法については、平成21年5月の法改正の際に、附則で施行後5年を経過した場合に見直す規定があり、平成25年度から検討調査等を行い化学物質審査規制の強化を図ることは、国が実施すべき優先度の高い事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	持続可能な開発に関する世界首脳会議において合意された「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」との目標(WSSD2020年目標)が達成できるよう、必要な検討を進め適正な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
-	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-